

2022年8月吉日

報道機関 各位

**相模女子大学・相模女子大学短期大学部  
金子修介客員教授が監督した『信虎』が  
マドリード国際映画祭2022において  
「外国語映画部門 最優秀監督」を受賞しました**

相模女子大学・相模女子大学短期大学部（神奈川県相模原市南区、学長・田畑雅英）の客員教授である金子修介監督の映画『信虎』が、マドリード国際映画祭 2022 において、「外国語映画部門 最優秀監督」を受賞しました。

2022年7月23日、スペインでマドリード国際映画祭の授賞式が行われ、5部門にノミネートされていた映画「信虎」（海外タイトル：Nobutora-Samurai Tiger）が、「外国語映画部門 最優秀監督」と「ベスト・コスチューム」の2部門を受賞しました。今回の「最優秀監督」の受賞は、金子修介監督と宮下玄霸共同監督の共同受賞となります。

金子修介客員教授は、平成『ガメラ』シリーズ（1995～1999）や『あずみ2』（2005）、『デスノート』（2006）など多くのヒット作を監督として手掛けており、2010年～2015年に本学客員教授、2015年～2020年に本法人教育・文化顧問を務め、2022年より本学客員教授に就任されました。これまでも、本学と公益財団法人相模原市民文化財団との共催企画「シネマ&トーク」を中心に活躍されています。

今回受賞した映画『信虎』は、有名な武将、武田信玄の父・武田信虎の生き様を描いた時代劇映画で、2021年10月に公開されました。武田信虎の晩年から武田家の滅亡までが描かれており、織田信長や上杉謙信も登場し、当時の時代背景の様子が細かく再現された作品です。



金子修介 客員教授

■相模女子大学  
ホームページ  
金子修介監督による  
「シネマ&トーク」



詳細はこちら  
[https://www.sagami-wu.ac.jp/info/20220422\\_11/](https://www.sagami-wu.ac.jp/info/20220422_11/)

■オフィシャルサイト  
映画『信虎』



詳細はこちら  
<https://nobutora.ayapro.ne.jp/>

【本件に関する取材依頼・お問い合わせ先】 学園事務部 総務課（担当：三好）  
[TEL] 042-747-9536 [FAX] 042-749-6500  
[E-mail] soumu@mail2.sagami-wu.ac.jp [HP] <https://www.sagami-wu.ac.jp/>